

カンサス州：小麦作柄と気象状況

2002年5月7日

この1週間の農作業可能日数は5.3日であった。過去1週間で降水が記録されたのは、北東地区東中央地区に偏っており、小麦の主産地である南西地区等州西部から中央南部に掛け殆ど降水は無かった。南西地区圃場の表土水分は78%が“著しく不足”の状態である。幸いな事に最高気温が83~90度F程度であり、土壌水分不足の割に小麦の状態は予想されたほど劣化をしていない。小麦は南部では半分以上の圃場で出穂しており、今後の降水量と気温の変化が単位収量に大きく影響を及ぼす。降水が少ない事もあり病虫害の被害の程度も例年より少ない。全州で虫害は凡そ69%で“無し”の報告であり、31%の被害ほ場でも被害の程度は軽度と報告されている。

第45回 Kansas Wheat Quality Council による Crop Survey (4月29日~5月2日に実施され、OMIC ポートランド職員も同サーベーターに参加している) の予想では、平均単位収量 35.5 ブッシェル/エーカー (2001年サーベーターの同期予想は 32.7bu/ac) とのことである。収穫面積は、播種面積 (940万エーカー) の凡そ89%とし、収穫予想は 297.1 百万ブッシェル (約810万トン。2001年産実績は USDA 発表では 328.0 百万ブッシェル) と予想されている。サーベーター・メンバーの USDA 気象予報官は、西中央区及び南西地区での今後10日間の降水は殆ど期待出来ない、と予想していたとの事である。カンサス州の小麦主産地区の単位収量が更に悪化すれば、収穫量予想は大きく下降修正されることなろう。昨年は、低い収穫予想がサーベーター後の良好な降雨の為に単位収量が大きく改善され、実績は予想を大きく上回る結果と成っている。

2002年5月5日現在：

土壌水分状況：

Topsoil

	NW	WC	SW	NC	C	SC	NE	EC	SE	State	Week	Year
Very Short (%)	44	24	78	21	7	35	0	0	0	22	19	1
Short (%)	36	42	22	43	30	23	5	13	19	25	28	15
Adequate (%)	20	34	0	36	63	42	95	84	75	52	49	74
Surplus (%)	0	0	0	0	0	0	0	3	6	1	4	10

(土壌水分状況：Subsoil は次ページ)

カンサス州：小麦作柄と気象状況

2002年5月7日（続）

Subsoil

	NW	WC	SW	NC	C	SC	NE	EC	SE	State	Week	Year
Very Short (%)	43	39	81	27	13	38	0	7	9	27	26	2
Short (%)	48	43	28	52	45	32	39	66	54	47	47	19
Adequate (%)	41	35	19	50	43	51	26	58	39	41	43	22
Surplus (%)	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2

（WeekとはLast weekを意味し、YearとはLast yearを意味する）

小麦作柄：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week (%)	18	22	32	25	3
Last week (%)	17	23	35	23	2
Last year (%)	15	26	34	23	2

小麦生育状況：

	NW	WC	SW	NC	C	SC	NE	EC	SE	State	Week	Year	5-yr
Jointing	65	60	89	81	89	92	82	98	99	83	68	79	92
Heading	5	11	20	11	22	62	4	16	75	28	8	18	20

（WeekとはLast week、YearとはLast yearを、5-yr.とは5年平均を意味する。）

Source: Kansas Agricultural Statistics Service